

きなりの郷



下北山村

「きなり」とは、まざりけのない純粹という意味で、それは本物にだけ使える言葉である。

下北山村の位置と地勢



観光拠点の整備

下北山スポーツ公園



スポーツ公園全景

施設概要

敷地面積	19万㎡
宿泊施設	定員123名
グラウンド	2面
テニスコート	12面
キャンプ場	野外ステージ
児童公園	



公園内の宿泊施設

観光拠点の整備

下北山温泉 きなりの湯



スポーツを通じた地域活性化 —下北山サッカーフェスティバル—



練習風景



サッカーフェスティバル参加者

スポーツを通じた地域活性化



H26に完成した人工芝グラウンド



きなりカップ女子サッカー大会

文化交流による地域活性化 — 下北山バイオリンセミナー —



講師による個別指導

文化交流による地域活性化 — 下北山バイオリンセミナー —



文化交流による地域活性化



新宮山彦ぐるーぷ 活動紹介



大峰奥駈道
(世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道)

「大峯南奥駈道」の「行仙岳」から望む冬の「釈迦ヶ岳」
(左のピラミッド型の麗峰に「釈迦如来像」が立つ)

新宮山彦ぐるーぷ 大峰奥駆道の維持・管理



風倒木の処理



奥駆道の補修

新宮山彦ぐるーぷ 山小屋建設及び維持・管理



平冶の宿 修理



行仙の宿 修理

新宮山彦ぐる一ふ



補修資材を背負って山を登る 元代表世話人 玉岡憲明氏



ご清聴ありがとうございました